

日本色彩学会研究会紹介 Introduction of Special Interest Groups of CSAJ

画像色彩研究会

Special Interest Group on Color in Image (sig-CI)

<https://color-science.jp/image/labnews/>

主査 鈴木卓治 (国立歴史民俗博物館)

(e-mail) suzuki@rekihaku.ac.jp

“画像の色彩”に係わる問題に積極的に取り組む研究会です。2003年発足。

◆ 2023年度活動報告

- 2023年10月28・29日(土・日)に開催された合同研究発表会(令和5年度秋の研究会大会行事)に参画しました。
- 2024年2月24日(土)に研究講演会「芸術作品の色彩美を科学する」を開催しました。主催：日本色彩学会関東支部、国立新美術館、画像色彩研究会。後援：視覚情報基礎研究会、色覚研究会、美的感性研究会。講演2件、パネルディスカッション。
- 2024年3月2日(土)に研究発表会を実施しました。研究発表5件。

◆ 2024年度活動計画

- 研究発表会を実施します(1~3月の予定)。
- 研究会大会の合同研究発表会に参画します。
- その他、対面あるいはオンラインによる研究会企画を実施したいと考えています。

環境色彩研究会

Special Interest Group on Environmental Color

主査 萩原京子 (サンスター技研(株))

(e-mail) cmk7rgb6@gmail.com

幅広い分野の環境色彩をテーマに研究活動をしています。ご参加をお待ちしています。

環境色彩研究は、「現場を見に行く」ことからスタートすると思っています。稀に「建築雑誌における色彩の取上げられ方」や「建築士試験における色彩関連問題について」などの机上の調査報告が行われることはあります。それよりも圧倒的な質と量を誇る研究、調査、報告は現場を実際に歩いたものです。そのため、環境色彩研究会では見学会に力を入れてきました。過去の見学会で訪れた事例をご紹介します。

バルコリーヌ南大沢(1990)、川崎市東芝科学館(1993)、庭園美術館 雅叙園ホテル(1994)、谷中(1995)、小江戸川越(1996)、沖縄(1998)、松戸(1999)、横浜中華街(2001)、山形(2002)、江戸染め工房(2003)、岩崎邸見学(2005)、浅草三丁目(2008)、常滑・INAXライブミュージアム(2009)、自由が丘(2010~

2011)、USJ(2012)、妙見宮例大祭観賞と廣徳寺(2012)、馬込文士村(2015)、重要伝統的建造物群保存地区奈良県今井町(2016)、茅葺屋根の「大内宿」と大正浪漫ただよう「七日町通り」(2017)、日本に於ける都市デザインの先進事例「横浜」(2019)

コロナ禍のため一時中断していた見学会が「商店街」をテーマに復活です。見学候補地は、谷中、浅草、下北沢です。また、2024年度研究会大会にて、「見学会報告 - 商店街を『色彩』で見る」を企画しました。今回の見学会に参加できない方にも、地元の商店街で一人見学会を実行後、その調査報告を発表していただく機会も設ける予定です。

本来の姿を取り戻しつつある環境色彩研究会を今後ともよろしく願っています。